

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年8月31日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104076
法人名	有限会社 パッション
事業所名	グループホーム パッション
所在地	鹿児島県鹿児島市和田一丁目16番1号 (電話) 099-269-1171
自己評価作成日	令和元年7月23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年8月22日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

国道に面しており、バス停・スーパー・病院など、利用者が外出しやすい環境にあります。  
 近隣に脳神経外科・鹿児島生協病院など、緊急時の対応が迅速に取れる事も強みになっています。  
 職員は徒歩圏内に住んでおり、利用者・ご家族も近隣地域の方が多く、面会も多くあります。町内行事も積極的に参加し、ご利用者・ご家族・スタッフと、グループホーム全体として参加している行事もあります。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、2階建ての2ユニット構成で、行き来も自由に行い災害時の協力関係もできている。
- ・定期的な受診と職員看護師の健康管理、医療機関との連携も図られ、緊急時の対応等に適切な医療が受けられる。道路向かいの医療機関と災害時の協力体制もできている。
- ・町内会に加入し、清掃活動や文化祭に作品を出展する等、地域行事にも積極的に参加している。認知症に関する相談を受けたり情報提供を行う等、地域と日常的に交流している。
- ・管理者は事業所の開設時から勤務しており、職員が働きやすい環境作りに配慮し、研修等への出席も奨励している。職員は経験豊富で勤務年数も長く、職員間のコミュニケーションも取れている。
- ・利用者を家族の一員として日々のケアに努めており、地域の中で安心して暮らせるように支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念については、常に意識し家族として生活している事を自覚している</p>	<p>理念は事業所内に掲示し、各自のネーム裏やパンフレットにも掲載している。理念を常に意識し、家族として生活していることを確認しながら、ミーティング等でも話し合い、共有して実践に繋げている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>町内会に加入。民生委員との連携も取れ、地域行事へ参加している</p>	<p>町内会に加入しており、民生委員とも連携が取れている。総会や地域行事の文化祭や運動会・清掃活動等に積極的に参加している。ボランティアの受け入れも行っており、地域住民からの相談に対応する等、日常的に交流している。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>認知症について電話・来訪での依頼が多くなっている 地域行事等での顔見知りも多くなり、身近に感じてくれている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホーム内での行事・研修等の報告を行い、色々なアドバイスを頂きミーティングで報告している</p>	<p>会議は定期的に行われ、事業所の状況やヒヤリハット・外部評価の報告・研修等を行っている。参加者からもアドバイスや提案が出されたり、防災についての話し合いを行い、職員で共有し、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>主に電話にて報告・相談を行っている その都度意見やアドバイスを頂いている</p>	<p>市担当者とは窓口に出向いたり、電話で事業所の実情や取り組みを伝え連携を深めている。運営推進会議を通して協力関係もできている。市主催の研修会にも積極的に参加し、管理者会議にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置し、会議を開催している 不定期ではあるが、職員間で勉強会を開催している</p>	<p>身体拘束廃止委員会でマニュアルに沿って勉強会を実施したり、対象となる事例検討会などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。特に言葉による拘束、声かけについて話し合い、配慮している。日中の玄関の施錠はせず、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束廃止委員会を中心に研修を行い、職員間にて虐待について理解し防止に努めている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部研修などに参加し、その資料を基に内部研修として生かしている</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前にご本人・ご家族との面談を行い、要望等を伺いホームとして出来る事を説明し、理解したうえで契約して頂いている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>1階玄関・下駄箱に意見箱を設置し、定期的に確認している ご家族の訪問を歓迎する事を職員にも周知させている</p>	<p>利用者からは日々の生活の中で意見や要望を聞いて対応している。家族には年2回の家族会や面会・電話・運営推進会議・行事参加時に気軽に意見を言える雰囲気作りをしている。毎月の便りで近況報告を送付し、メールやラインで意見交換している。玄関に意見箱を設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>1ヶ月1回ミーティングを実施し、2ヶ月1回全体ミーティングで意見交換・要望を聞いている</p>	<p>管理者は月1回のミーティングや2ヶ月に1回の全体ミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設けている。出された提案を検討してケアの統一に活かしている。資格取得の支援もしている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務希望・有給取得への配慮を行っている 緊急・急病等には柔軟に対応している</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月「Sカフェ」を開催し、軽食を摂りながら、職員間及び他事業所との親睦を図っている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内で毎月「管理者会議」を開催し、研修・ネットワークを作っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始前には、ご本人の生活歴・病歴等の生活上必要な情報を収集し、入居開始前には安心して生活が出来るように努めている また、各入居者に担当スタッフを付けている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の要望に添えるように、優先順位・必要性を選択し、ご家族様の協力を得ながら関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	重要性等をスタッフ及びご家族を交えた話で見極め、ご家族・周囲関係機関も含め、早急に対応できる様に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ADL等の状況把握に努め、支え合う・支え合える環境づくりに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>行事・会合への積極的な参加を促し、ご本人との関わる機会を増やしている</p> <p>また、必要に応じて個別に協力を依頼し、対応して頂いている</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>不都合がない限り、自由に面会して頂いている</p> <p>電話も随時取り次いでいる</p>	<p>面会が多く、1階の利用者が2階に遊びに来る等の交流もある。</p> <p>馴染みの場所に出かけたり・買い物支援・電話の取次ぎ等も行っており継続的関係が途切れないよう働きかけている。家族の協力で外泊や外出・墓参等の支援をしている。受診の帰りに外食したり買い物に出かけることもある。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>食事・お茶時は食堂に来て頂き、皆さんと一緒に摂って頂いている</p> <p>また、定期的にレクリエーション・ラジオ体操・リハビリ体操などを実施している</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居後の相談・その後のフォローは積極的に対応している</p> <p>入院・転居後も状態把握に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望・意向を聞き、希望に添えるように家族へ報告し、スタッフ間でも意見交換を行い、少しでも近づけるように努力している	日ごろの会話や表情を見ながら把握に努めている。直接思いを話されることもある。利用者の変化する思い等、スタッフ間で意見を交換して共有している。困難な場合は、家族からも情報を得て、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・ご家族より情報収集を行い、その人らしい生活・暮らしが出来るように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の様子観察を行い、記録等にも残しスタッフ全員が把握できる様に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティングで家族やスタッフの意見等を取り入れ、介護計画に反映させている	本人・家族・医師・職員の意見を取り入れ、担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングは毎月実施し、必要時に見直している。6ヶ月ごとにカンファレンスを行っている。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の様子や気づきを記録し、スタッフ間でも情報交換を行い、今後のケアに活かせるように努力している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人その時に応じたサービスが出来るように、情報を共有している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事（運動会・文化祭等）にスタッフと一緒に参加し、地域の方々との交流を図っている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	定期的にかかりつけ医に受診しており、ADLや状態報告も行っている	かかりつけ医に日常生活の情報報告を行い、継続受診を支援している。訪問診療や歯科往診は職員で対応し、結果は家族に報告している。訪問マッサージも実施している。複数の医療機関と連携して、緊急時等に適切な医療が受けられるよう連携を取っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の健康管理や状況変化の情報を共有し、適切な看護・介護が受けられるように環境を整えている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際にはスタッフがお見舞いに行き、状態の把握をし、早期退院に努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医より説明をして頂き、その上で家族の意向を聞きながら、定期的に話し合いを行い支援している</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、同意を得ている。状況変化に伴い随時話し合い、家族と方向性を共有できるように取り組んでいる。看取りの事例もある。緊急対応マニュアルもあり、職員は関連の研修を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急対応マニュアルを作成し、定期的にミーティングを行い、早期対応に備えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練の実施・注意点等を消防局の方に指導して頂いている 不定期ではあるが、近隣の避難訓練へ参加している</p>	<p>消防署立会いのもと年1回、自主で年1回の昼夜想定避難訓練を実施している。近隣の医療機関や地域との協力体制もできおり、避難訓練にも参加している。スプリンクラーや緊急通報装置も整備し、定期的に設備の点検も実施している。水や米・缶詰・インスタント食品等の備蓄があり、災害頭巾も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各居室には声かけを行い、入室している トイレ移動の際にも声かけ・了解を得て、パットの確認を行い交換している	外部研修に参加したり勉強会を行って、職員の資質向上に取り組んでいる。誇りやプライバシーを損ねない言葉かけやケアに取り組んでいる。特に入室時や入浴・トイレ誘導等では羞恥心に対する配慮を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人やご家族も交えてケアカンファレンスを行い、本人の思いや希望を考慮し、自己決定出来るような声かけを行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションへの参加の声かけは行っているが、参加する・しないは本人に任せている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整容や整髪の介助や2ヶ月毎に訪問カットを依頼開いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や片付けは出来る範囲でお手伝いをして頂いている また、お手伝いの後はお礼の言葉もしっかりと伝えている	旬の野菜の差し入れがあり、出来る範囲でもやしの根切りや配膳・下膳・台ふき等、職員と一緒にやっている。誕生日にはケーキが届いたり、季節の行事食、家族の協力をもらいながら外食にも出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考慮し、個々に合わせ、食事の形態や量を調整し、摂取して頂いている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後と声かけ・介助にて口腔ケア実施している また、必要に応じ歯科受診や訪問歯科利用も行っている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄管理表を活用し、定期的にトイレ移動の声かけやオムツ・パット確認も行っている	排泄チェック表を基に排泄パターンを把握し、必要に応じての声かけをし、日中はトイレでの排泄や排泄の自立を支援している。排泄用品は個々に応じて対応している。夜間も定期的に確認し、習慣を大切にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維が豊富な献立を立てたり、主治医に相談し下剤・整腸剤等を処方して頂いている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回、体調に応じて入浴を行っている 入浴できない時は清拭を行い、入浴日を変更している	週3回、午前中に入浴になっているが、体調や希望に沿って柔軟に対応している。入浴日以外はシャワー浴や清拭も行い清潔保持に努めている。入浴を拒む場合は声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の希望や体調を考慮しながら、日中は休息して頂き、夜は安心して休んで頂けるよう室温調整・調光や声かけを行っている		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬を理解するよう努め、お茶の説明書で確認等している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に出来るお手伝いを、体調に合わせてして頂いたり、興味のある方はカラオケ・ラジオ体操・塗り絵等を勧めている		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	年間行事等で外出を設けたり、ご家族の協力を得て外出・外泊などして頂けるよう支援している	日常的には周辺を散歩したり、買い物に出かけている。計画を立てて、地域の行事や初詣・花見に出かけ、ソーメン流しには家族も一緒に楽しんでいる。外泊や外出・外食・墓参・理美容院利用は家族の協力で支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望・ご家族の理解のもと、所持されている 預り金においては、スタッフにて出納管理を行い、使用支援を行っている		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望時はなるべく迅速に電話をかけられるよう対応している ご本人にかかってきた際には、不都合がなければ取次を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は清潔・和やかな雰囲気心を心がけている 季節の花や装飾にて工夫をしている	共用空間は換気・採光・温度・湿度に配慮し清潔で、季節感のある写真や新聞・花が飾られている。対面式のキッチンで利用者とお喋りをしたり、お手伝いをもらう等、心地良く過ごしている。ソファやテーブル等でそれぞれが思い思いに過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室は個室対応であり、馴染みの家具など持ち込み可能である共用スペースでは椅子やソファがあり、楽しく談話が出来るよう配慮されている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使っていた馴染みの物を使って頂き、居心地の良い過ごし方が出来るよう、工夫している	居室はエアコンやベッド・洗面台・ダンスが備え付けである。テレビやラジオ・ソファ・テーブルセット・家族の写真・遺影・簡易壺など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺設置により、自立歩行の手助けを行ったり、トイレ等にポスターを貼り、目で確認できる様にしている		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない